

平成29年度 あきたスマートカレッジ (報告)

あきた教養講座

P1～12 文学リレー講座～戦中・戦後の文学～

会場：秋田県生涯学習センター3階 講堂

【趣旨】戦中・戦後にかけて活躍した代表的な作家とその作品について、4人の講師がリレー形式でたどり、様々な角度から解説しました。

講座記号	期 日	テーマ		参加者数
P 1	4月22日 (土)	高村光太郎① 青年光太郎『道程』 ～彫刻家父光雲と青年光太郎～	秋田県生涯学習センター シニアコーディネーター 北条 常久	79
P 2	5月27日 (土)	高村光太郎② 光太郎と智恵子 『智恵子抄』 ～千恵子の姿に清められ～		80
P 3	6月24日 (土)	高村光太郎③ 戦中・戦後の光太郎 『暗愚小伝』 ～花巻高村山荘での生活～		78
P 4	7月29日 (土)	太宰治① 『魚服記』 ～文学的原風景の表象～	秋田県立大学 総合科学教育研究センター 教授 高橋 秀晴 氏	47
P 5	8月26日 (土)	太宰治② 『駆込み訴え』 ～中期における一つの結実～		49
P 6	9月16日 (土)	太宰治③ 『桜桃』 ～晩年の境地を描く～		53
P 7	10月28日 (土)	三島由紀夫① 『金閣寺』 ～美と倫理～	秋田大学教育文化学部 准教授 山崎 義光 氏	76
P 8	11月25日 (土)	三島由紀夫② 『潮騒』 ～古典と現代～		58
P 9	12月16日 (土)	三島由紀夫③ 『美しい星』 ～世界と実存～		58
P10	1月27日 (土)	大江健三郎① 『奇妙な仕事』 ～学生作家～	秋田工業高等学校人文科学系 教授 石塚 政吾 氏	39
P11	2月24日 (土)	大江健三郎② 『飼育』 ～芥川賞作家～		49
P12	3月24日 (土)	大江健三郎③ 『万延元年のフットボール』 ～ノーベル賞作家への道～		49
				合計714名

ここでは、第1回目の講座について報告します。

第1回目は、総合開講式に先駆けて行った平成29年度最初の講座。北条常久シニアコーディネーターが講師を務める「高村光太郎①青年光太郎『道程』」の講座です。光太郎は欧米留学で受けた文化的衝撃を、彫刻とともに近代詩で多数発表し、口語自由詩の推進者として活躍しました。



僕の前に道はない 僕の後ろに道は出来る …

光太郎が『道程』で表した父光雲に対する感謝と敬愛の境地にたどり着くまでには、様々な生活経験を積み変容した背景がありました。光雲は木彫を復活に導き帝室技芸員を拝命した偉大な父。東京美術学校在学中の光太郎にはそんな父が職人として見えなくなり、それ以上のものを知るべく渡ったパリでは、日本を懐かしみながらも、その一切を否定するようになります。帰朝後は「根付の國」「なまけもの」から読み取れるように、封建的倫理の支配する日本、家長制度を重んじる日本になじめず、精神的に退廃した日々が続きます。しかしながら、家の束縛を離れ、長沼智恵子と出会うことにより父への思いを見つめ直します。なんと智恵子の存在は大きいことでしょう。

受講者からは、「なまけものと道程の対比や、口語自由詩の流れが興味深かった」「ユーモアを取り入れ学習のポイント・キーワードを分かりやすく説明されていて楽しく受けることができた」と充実感溢れるご感想をいただきました。